

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはつかつちょうさほうこくしょ 8							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅶ							
副書名	盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成22～24年度発掘調査① 台太郎遺跡・飯岡沢田遺跡・夕覚遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2016年9月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名（略号）	所在地	市町村	遺跡番号	（世界測地系）			（㎡）	
だい たらう い せき 台太郎遺跡（ODT）	いわて けん もり おかし むかい なかの 岩手県盛岡市向中野 いち に ごちようめ 1・2・5丁目	03201	LE16-2296	39° 40' 57"	141° 08' 25"	71次：2010.8.9-8.18 72次：2010.10.21-12.17 74次：2011.5.30-11.11 75次：2012.11.22 76次：2013.3.02-3.13	1,310 506 1,120 21 177	土地区画整理事業等
い い おか さ わ だ 飯岡沢田（ISD）	いわて けん もり おかし むかい なかの 岩手県盛岡市向中野 さんちようめ きたい い おが い ち ち ょう め 3丁目、北飯岡1丁目	03201	LE16-2169	39° 40' 42"	141° 8' 13"	13次：2010.6.1-8.10	5,730	
ゆ う かく 夕覚（IYK）	いわて けん もり おかし むかい なかの 岩手県盛岡市北飯岡3・ よんちようめ い い おかし ん でん こ ち ょう り 4丁目、飯岡新田5地割	03201	LE16-2169	39° 40' 8"	141° 8' 12"	7次：2010.9.9-9.17 10次：2011.11.28	894 264	
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
台太郎71次	集落	古代		堅穴建物跡、土坑、溝跡等			試掘確認（一部保存）	
台太郎72次	集落	古代以降		堅穴建物跡1、土坑1 堅穴状遺構2、土坑5、溝跡4、 ピット		土師器 土師器、近世陶磁器		
台太郎74次Ⅰ区	集落	古代	古代以降	堅穴建物跡5、土坑10 溝跡2、方形周溝1		土師器、須恵器、あかやき土器 フイゴ羽口		
台太郎74次Ⅱ区	集落	古代	古代末 古代以降	堀跡2、ピット 堀跡1		土師器、須恵器、あかやき土器 かわらけ		
台太郎74次Ⅲ区	集落	古代	古代末 古代以降	堅穴建物跡1、土坑墓3 堀跡1 土坑2、溝跡1、ピット		土師器、土製勾玉、土玉、石製紡錘車、 環状石製品、刀子		
台太郎75次	集落			なし			試掘確認	
台太郎76次	集落	古代		堅穴建物跡、溝跡など		土師器、須恵器など	試掘確認（本調査）	
飯岡沢田13次	集落	古代		堅穴建物跡2、堅穴状遺構1、 土坑11、溝跡2		土師器、須恵器、あかやき土器、 刻書土器「×」		
夕覚7次	集落			なし				
夕覚10次	集落			なし				
要約	<p>盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦22年（803）に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が10世紀末で拠点とした古代集落群が主に確認されている。</p> <p>本書掲載のうち、盛南地区遺跡群で最大規模の古代集落である台太郎遺跡では、計8棟の堅穴建物跡（住居）を精査し、多くの遺物が出土しており、遺跡中央部及び東部の集落の様相を明らかにすることができた。また、遺跡東部に位置する不整形の区画の堀について、埋土下層よりかわらけが出土したことにより、古代末の12世紀中葉～後葉の年代であることが明らかとなった。また、不整五角形で一部二重に堀が囲む中世の居館跡の南西部において、二重区画の内側にあたる古い時期の堀のコーナー部分を確認することができた。</p> <p>台太郎遺跡の西方に位置する飯岡沢田遺跡では、古代の堅穴建物跡（住居）2棟を精査し、過年度の調査成果と合わせ、遺跡の西半部が古代集落の閑散とした縁辺部であったことが明らかとなった。</p>							